

アジア太平洋エネルギー研究センター拠出金

令和4年度予算額 1.1億円 (1.1億円)

事業の内容

事業目的・概要

- アジア太平洋経済協力(APEC)のエネルギー専門研究機関であるアジア太平洋エネルギー研究センター (APERC) (注)を通じて、アジア太平洋地域における石油・天然ガスの供給途絶への対応を強化し、エネルギー安全保障の強化を図ります。

1. 石油ガスセキュリティに関する人材育成・緊急時対応訓練

エネルギーの国外依存度が高いAPEC参加国・地域において、石油と天然ガスの供給途絶時対応の検討が必要です。APERCにおいて「APEC石油・ガス・セキュリティ・イニシアチブ」の下、石油・天然ガスの途絶シナリオに基づく対応訓練や情報交換を行います。

2. 石油ガスセキュリティに関する調査研究

APEC地域におけるエネルギー安全保障に関する調査研究及び政策提言を行います。

成果目標

- アジア太平洋地域の緊急時対応能力の向上に資する活動を通じ、日本のエネルギー安全保障の向上を目指します。
- 令和12年度までに、APECに参加する11の途上国・地域に対してセキュリティ・エクササイズを実施し、エネルギー安全保障の向上を目指します。

条件 (対象者、対象行為、補助率等)



事業イメージ

APEC石油・ガス・セキュリティ・イニシアチブ 事業内容

(1) 石油・ガス・セキュリティ・エクササイズの実施

- APEC参加国・地域の要請に対して専門家を派遣し、石油・ガスの供給途絶時を想定したシナリオに基づく、自主的エクササイズを支援。

<実施実績>

- ・タイ、インドネシア、フィリピン、オーストラリア、ペルー、チリ



(2) 石油・ガス・セキュリティ・ネットワークの構築

- 石油・ガスのセキュリティに関するニュースレターを定期的に発信。
- 年1回フォーラムを開催し、APEC参加国・地域代表が石油・ガスのセキュリティに関し情報交換を行うと共に、緊急時対応の改善策について議論。

<開催実績>

- ・日本 (東京、北九州、鹿児島、仙台)
- ・ロシア (イルクーツク)



(3) 石油・ガス・セキュリティ・スタディの刊行

- 石油・ガスのセキュリティに関連するテーマについて調査研究を行い、年1~2本レポートを刊行する。

<テーマ例>

- ・変化するLNG市場のダイナミクス
- ・石油・ガスセキュリティに対する新型コロナウイルスの影響

(注) APERCは、アジア太平洋地域におけるエネルギー協力を推進することを目的として、日本の強いイニシアチブの下、平成7年11月のAPEC首脳会合(大阪)の合意に基づき、平成8年7月に設立された。